

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M16C-23-9904

M30201 グループ シリアル I/O に関する追加情報

1. 対象品種

M30201 グループ

2. 内 容

1998 年 8 月発行の「三菱半導体データブック 16 ビットシングルチップマイクロコンピュータ M16Cファミリ編」(印刷番号:HD-174A)に、一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。本データブックをご使用の際は、留意のほどよろしくお願いたします。

添付：「1999 年度版データブック M16C ファミリ編」正誤表(REV.A)・・・・・・・・・・2 枚

訂正箇所	誤	正																																																																																
2-81頁	<p>誤</p> <p>UARTi受信バッファレジスタ</p> <p>シンボル アドレス リセット時 U0RB 03A7₁₆, 03A6₁₆番地 不定 U1RB 03AF₁₆, 03AE₁₆番地 不定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビットシンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)</th> <th>機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>受信データ</td> <td>受信データ</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="5">何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。</td> </tr> <tr> <td>OER</td> <td>オーバランエラーフラグ(注1)</td> <td>0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生</td> <td>0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>FER</td> <td>フレーミングエラーフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>PER</td> <td>パリティエラーフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>SUM</td> <td>エラーサムフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: エラーなし 1: エラー発生</td> <td>x</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. ビット15-ビット12は、シリアルI/Oモード選択ビット(03A0₁₆, 03A8₁₆番地のビット2-ビット0)を“000₂”にしたとき、または受信許可ビットを“0”にしたとき、“0”になります(ビット15は、ビット14-ビット12がすべて“0”になると、“0”になります)。また、ビット14、ビット13は、UARTi受信バッファレジスタの下位バイト(03A6₁₆, 03AE₁₆番地)を読み出したときも、“0”になります。</p>	ビットシンボル	ビット名	機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W	—	—	受信データ	受信データ	x	何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。					OER	オーバランエラーフラグ(注1)	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	x	FER	フレーミングエラーフラグ(注1)	無効	0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生	x	PER	パリティエラーフラグ(注1)	無効	0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生	x	SUM	エラーサムフラグ(注1)	無効	0: エラーなし 1: エラー発生	x	<p>正</p> <p>UARTi受信バッファレジスタ</p> <p>シンボル アドレス リセット時 U0RB 03A7₁₆, 03A6₁₆番地 不定 U1RB 03AF₁₆, 03AE₁₆番地 不定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビットシンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)</th> <th>機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>受信データ</td> <td>受信データ</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="5">何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。</td> </tr> <tr> <td>OER</td> <td>オーバランエラーフラグ(注1)</td> <td>0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生</td> <td>0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>FER</td> <td>フレーミングエラーフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>PER</td> <td>パリティエラーフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>SUM</td> <td>エラーサムフラグ(注1)</td> <td>無効</td> <td>0: エラーなし 1: エラー発生</td> <td>x</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. ビット15-ビット12は、受信許可ビットを“0”にしたとき“0”になります(ビット15は、ビット14-ビット12がすべて“0”になると、“0”になります)。また、ビット14、ビット13は、UARTi受信バッファレジスタの下位バイト(03A6₁₆, 03AE₁₆番地)を読み出したときも、“0”になります。</p>	ビットシンボル	ビット名	機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W	—	—	受信データ	受信データ	x	何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。					OER	オーバランエラーフラグ(注1)	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	x	FER	フレーミングエラーフラグ(注1)	無効	0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生	x	PER	パリティエラーフラグ(注1)	無効	0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生	x	SUM	エラーサムフラグ(注1)	無効	0: エラーなし 1: エラー発生	x										
ビットシンボル	ビット名	機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W																																																																														
—	—	受信データ	受信データ	x																																																																														
何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。																																																																																		
OER	オーバランエラーフラグ(注1)	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	x																																																																														
FER	フレーミングエラーフラグ(注1)	無効	0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生	x																																																																														
PER	パリティエラーフラグ(注1)	無効	0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生	x																																																																														
SUM	エラーサムフラグ(注1)	無効	0: エラーなし 1: エラー発生	x																																																																														
ビットシンボル	ビット名	機能 (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W																																																																														
—	—	受信データ	受信データ	x																																																																														
何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。																																																																																		
OER	オーバランエラーフラグ(注1)	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	0: オーバランエラーなし 1: オーバランエラー発生	x																																																																														
FER	フレーミングエラーフラグ(注1)	無効	0: フレーミングエラーなし 1: フレーミングエラー発生	x																																																																														
PER	パリティエラーフラグ(注1)	無効	0: パリティエラーなし 1: パリティエラー発生	x																																																																														
SUM	エラーサムフラグ(注1)	無効	0: エラーなし 1: エラー発生	x																																																																														
2-82頁	<p>UARTi 送受信制御レジスタ0</p> <p>シンボル アドレス リセット時 UIC0(i=0,1) 03A4₁₆, 03AC₁₆番地 08₁₆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビットシンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能(注1)</th> <th>機能(注1)</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CLK0</td> <td>BRGカウンタソース選択ビット</td> <td>0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択</td> <td>0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">このビットは“0”に設定してください。</td> </tr> <tr> <td>TXEPT</td> <td>送信レジスタ空フラグ</td> <td>0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)</td> <td>0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="5">このビットは“0”に設定してください。</td> </tr> <tr> <td>NCH</td> <td>データ出力選択ビット</td> <td>0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力</td> <td>0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CKPOL</td> <td>CLK雑性選択ビット</td> <td>0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。</td> <td>0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>UFORM</td> <td>転送フォーマット選択ビット</td> <td>0: LSBファースト 1: MSBファースト</td> <td>0: LSBファースト 1: MSBファースト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. UARTiは90°同期シリアルI/Oでは使用できません。</p>	ビットシンボル	ビット名	機能(注1)	機能(注1)	R/W	CLK0	BRGカウンタソース選択ビット	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択		このビットは“0”に設定してください。					TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	x	このビットは“0”に設定してください。					NCH	データ出力選択ビット	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力		CKPOL	CLK雑性選択ビット	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。		UFORM	転送フォーマット選択ビット	0: LSBファースト 1: MSBファースト	0: LSBファースト 1: MSBファースト		<p>UARTi 送受信制御レジスタ0</p> <p>シンボル アドレス リセット時 UIC0(i=0,1) 03A4₁₆, 03AC₁₆番地 08₁₆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビットシンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能(注1)</th> <th>機能(注1)</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CLK0</td> <td>BRGカウンタソース選択ビット</td> <td>0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択</td> <td>0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">このビットは“0”に設定してください。</td> </tr> <tr> <td>TXEPT</td> <td>送信レジスタ空フラグ</td> <td>0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)</td> <td>0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="5">このビットは“0”に設定してください。</td> </tr> <tr> <td>NCH</td> <td>データ出力選択ビット</td> <td>0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力</td> <td>0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CKPOL</td> <td>CLK雑性選択ビット</td> <td>0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。</td> <td>0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>UFORM</td> <td>転送フォーマット選択ビット</td> <td>0: LSBファースト 1: MSBファースト</td> <td>0: LSBファースト 1: MSBファースト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. UARTiは90°同期シリアルI/Oでは使用できません。</p>	ビットシンボル	ビット名	機能(注1)	機能(注1)	R/W	CLK0	BRGカウンタソース選択ビット	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択		このビットは“0”に設定してください。					TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	x	このビットは“0”に設定してください。					NCH	データ出力選択ビット	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力		CKPOL	CLK雑性選択ビット	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。		UFORM	転送フォーマット選択ビット	0: LSBファースト 1: MSBファースト	0: LSBファースト 1: MSBファースト	
ビットシンボル	ビット名	機能(注1)	機能(注1)	R/W																																																																														
CLK0	BRGカウンタソース選択ビット	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択																																																																															
このビットは“0”に設定してください。																																																																																		
TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	x																																																																														
このビットは“0”に設定してください。																																																																																		
NCH	データ出力選択ビット	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力																																																																															
CKPOL	CLK雑性選択ビット	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。																																																																															
UFORM	転送フォーマット選択ビット	0: LSBファースト 1: MSBファースト	0: LSBファースト 1: MSBファースト																																																																															
ビットシンボル	ビット名	機能(注1)	機能(注1)	R/W																																																																														
CLK0	BRGカウンタソース選択ビット	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択	0: 0: f1を選択 0: 1: f8を選択 1: 0: f32を選択 1: 1: f6を選択																																																																															
このビットは“0”に設定してください。																																																																																		
TXEPT	送信レジスタ空フラグ	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	0: 送信レジスタにデータあり(送信中) 1: 送信レジスタにデータなし(送信完了)	x																																																																														
このビットは“0”に設定してください。																																																																																		
NCH	データ出力選択ビット	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力	0: TXD端子はCMOS出力 1: TXD端子はNチャネルオープンドレイン出力																																																																															
CKPOL	CLK雑性選択ビット	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。	0: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。 1: 転送クロックの立ち上がりで送信データ出力。立ち上がりで受信データ入力。																																																																															
UFORM	転送フォーマット選択ビット	0: LSBファースト 1: MSBファースト	0: LSBファースト 1: MSBファースト																																																																															

訂正箇所	誤	正																																																												
2-83頁	<p style="text-align: center;">誤</p> <p style="text-align: center;">UARTi 送受信制御レジスタ1</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>シンボル UiC1(i=0,1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>アドレス</p> <p>03A516,03AD16番地</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>リセット</p> <p>0216</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">ビット シンボル</th> <th style="width: 20%;">ビット名</th> <th style="width: 30%;">機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)</th> <th style="width: 30%;">機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)</th> <th style="width: 10%;">R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TE</td> <td>送信許可ビット</td> <td>0: 送信禁止 1: 送信許可</td> <td>0: 送信禁止 1: 送信許可</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>TI</td> <td>送信バッファ空フラグ</td> <td>0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし</td> <td>0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし</td> <td style="text-align: center;">x</td> </tr> <tr> <td>RE</td> <td>受信許可ビット</td> <td>0: 受信禁止 1: 受信許可</td> <td>0: 受信禁止 1: 受信許可</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>受信完了フラグ</td> <td>0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり</td> <td>0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり</td> <td style="text-align: center;">x</td> </tr> <tr> <td colspan="4">何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注1. UART1はクロック同期シリアルI/Oでは使用できません。</p>	ビット シンボル	ビット名	機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W	TE	送信許可ビット	0: 送信禁止 1: 送信許可	0: 送信禁止 1: 送信許可	-	TI	送信バッファ空フラグ	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	x	RE	受信許可ビット	0: 受信禁止 1: 受信許可	0: 受信禁止 1: 受信許可	-	RI	受信完了フラグ	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	x	何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。				-	<p style="text-align: center;">正</p> <p style="text-align: center;">UARTi 送受信制御レジスタ1</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>シンボル UiC1(i=0,1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>アドレス</p> <p>03A516,03AD16番地</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>リセット</p> <p>0216</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">ビット シンボル</th> <th style="width: 20%;">ビット名</th> <th style="width: 30%;">機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)</th> <th style="width: 30%;">機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)</th> <th style="width: 10%;">R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TE</td> <td>送信許可ビット</td> <td>0: 送信禁止 1: 送信許可</td> <td>0: 送信禁止 1: 送信許可</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>TI</td> <td>送信バッファ空フラグ</td> <td>0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし</td> <td>0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし</td> <td style="text-align: center;">x</td> </tr> <tr> <td>RE</td> <td>受信許可ビット(注2)</td> <td>0: 受信禁止 1: 受信許可</td> <td>0: 受信禁止 1: 受信許可</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>受信完了フラグ</td> <td>0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり</td> <td>0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり</td> <td style="text-align: center;">x</td> </tr> <tr> <td colspan="4">何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; font-size: x-small;"> <p>注1. UART1はクロック同期シリアルI/Oでは使用できません。</p> <p>注2. クロック非同期シリアルI/Oモードで使用する場合、受信許可ビットはRxDi端子への入力か“H”の状態 で受信許可に設定してください。RxDi端子への入力か“L”の状態 で受信許可に設定した場合、直ちに受信動作が開始されます。</p> </div>	ビット シンボル	ビット名	機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W	TE	送信許可ビット	0: 送信禁止 1: 送信許可	0: 送信禁止 1: 送信許可	-	TI	送信バッファ空フラグ	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	x	RE	受信許可ビット(注2)	0: 受信禁止 1: 受信許可	0: 受信禁止 1: 受信許可	-	RI	受信完了フラグ	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	x	何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。				-
ビット シンボル	ビット名	機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W																																																										
TE	送信許可ビット	0: 送信禁止 1: 送信許可	0: 送信禁止 1: 送信許可	-																																																										
TI	送信バッファ空フラグ	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	x																																																										
RE	受信許可ビット	0: 受信禁止 1: 受信許可	0: 受信禁止 1: 受信許可	-																																																										
RI	受信完了フラグ	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	x																																																										
何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。				-																																																										
ビット シンボル	ビット名	機能(注1) (クロック同期シリアルI/Oモード時)	機能 (クロック非同期シリアルI/Oモード時)	R/W																																																										
TE	送信許可ビット	0: 送信禁止 1: 送信許可	0: 送信禁止 1: 送信許可	-																																																										
TI	送信バッファ空フラグ	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	0: 送信バッファレジスタにデータあり 1: 送信バッファレジスタにデータなし	x																																																										
RE	受信許可ビット(注2)	0: 受信禁止 1: 受信許可	0: 受信禁止 1: 受信許可	-																																																										
RI	受信完了フラグ	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	0: 受信バッファレジスタにデータなし 1: 受信バッファレジスタにデータあり	x																																																										
何も配置されていない。 書き込む場合、“0”を書き込んでください。読み出した場合、その値は不定。				-																																																										